

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 13日

事業所名 こどもプラス豊見城教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1	0		
	2	職員の配置数は適切である	12	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	8	1		バリアフリー化をするためDIYを行って段差削減をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	6	1	その日の気づきを朝礼終礼で職員間で共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	4	0		毎年行っているが新入社員が把握していなかったため、今後周知を徹底する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	4	0		毎年行っているが新入社員が把握していなかったため、今後周知を徹底する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	4	1	本部からスーパーバイザーが実地指導を行っている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	2	0	毎月、本部からの動画研修を実施。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12	0	0	定期的に職員間で支援会議を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	6	0		
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	3	0	屋外活動を定期的に行って、子ども達の満足度があがるようにしている。	利用者からの希望を反映できるように工夫する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	4	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	0	言語聴覚士による個別訓練、運動保育士による集団の運動遊びなどを行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	7	0		朝ミーティングを行っているが、できる時とできない時があるため、必ずできるようにしていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	8	0		送迎次第でできない日があるため、その場合は次の日の朝礼で申し送りを行うようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	3	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	1	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	4	1		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	3	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	2	1	記録即時対応に努めている。必要に応じて関係機関と連絡を取っている。	今年度より保育所等訪問支援を実施しており、学校との情報共有を密に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	5	3		現在のところ該当児無し。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	7	1	保護者の希望により担当者会議や電話にて情報共有をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	4	3		該当児なし。今後卒業する児童に対しての情報共有の準備はしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	10	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	8	0		コロナ渦の影響で実施していないが、落ち着き次第交流する予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	5	0	かざぐるま連絡会に担当者が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	8	4	0	管理者が研修を受けている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	1	0	契約の時に丁寧に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	0	0	保護者からの相談や要望があった場合は即時に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	8	2		コロナ渦のため実施していないが、落ち着き次第行う予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	2	0	苦情受付窓口や意見書ボックスなどを配置。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	0	毎月会報やお便りを配布。また、lineなどで配信	
	35	個人情報に十分注意している	10	2	0	鍵付きの書庫に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	2	0	レベルに応じてジェスチャーや文字など伝達手段を変えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	6	コロナ感染に留意しながら、ハロウィンパレードなどを実施。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	6	0	策定し、スタッフに周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	2	0	年に2回避難訓練を実施している。	地域の特性に合わせた訓練を実施するよう努める。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	1	0	年に1回研修を受けており、職員に周知。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	6	2		今後該当児が入所した場合に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	6	0	保護者からの情報に基づいて対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0	0	事業所のみではなく法人全体で共有している。	